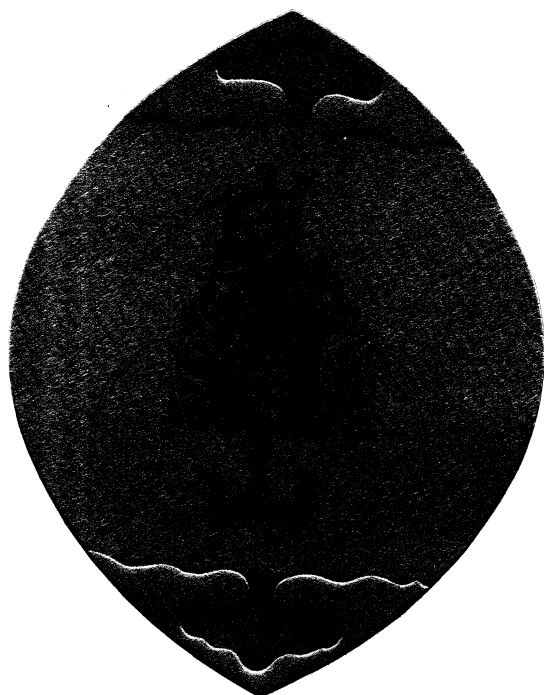


宝林寺だより

2024 お盆号

浄土真宗本願寺派 宝林寺 559-0003 大阪市住之江区安立1-5-11 ☎06-6671-4201

参拝記念 けいほ 華葩



威徳山

本堂正面を見上げて頂くと掛かっている額に書かれているのが、この「威徳山」です。これを「山号」と言います。

元々、お寺は国家安寧を願って僧侶が脇目もふれずに修行するために山奥の辺鄙な所に建てられました。

比叡山の延暦寺、高野山の金剛峯寺など、お寺が建っている山の名前を冠して呼ぶようになりました。これが「山号」の始まりです。

後に、お寺は国家安寧を願うことに特化された所ではなく、広く一般の人たちに仏法を広める場所として山奥ではなく市中にお寺が建立されるようになりましたが、仏教の伝道に脇目もふれずに精進するという自戒の念から、平地に建つお寺にも山号を冠しています。

「威徳山」は宝林寺の山号です。

合祀墓のご案内

近年、遠方のお墓を引き上げたいと希望される方が増えてきました。

年齢を重ねるにつれて遠方のお墓参りは大変、出来ればお墓を近くに引っ越したい。

ご門徒皆様のそんな思いを受けて、阿弥陀さまの元にご遺骨をお納めし、永代にわたりお寺が護持・供養させていただく合祀墓を建立させていただきました。

ご門徒の皆様方の心の拠り所となることを願っております。

永代冥加料 50,000円

石板への記名をご希望される方は

盆踊り

9月 7日(土) 19時～
(21時終了)

宝林寺記念会館駐車場

昨年同様、安立中町会と合同で開催いたします。
飲み物のご用意もあります。
気楽にお立ち寄りください。
※雨天中止です。

宝林寺旅行 ～播州 鶴林寺(西の法隆寺)参拝～

日時:9月29日(日) ※全行程貸切観光バス

参加費:10,000円

昨年は聖徳太子の廟所、観福寺に参拝いたしました。

本年も聖徳太子ゆかりの鶴林寺に参拝いたします。

鶴林寺(589年創建)は奈良斑鳩の法隆寺(607年創建)よりも先に聖徳太子が建立されたとされているお寺です。

行程の詳細は決まり次第お知らせいたしますので参加を希望される方はご連絡ください。

「まちの保健室」

毎月第一水曜日

13時～15時

看護師さんの任意団体である看護師協会が病院に行くには敷居が高いと思われる方に、血圧測定、握力測定の数字を基に総合的に健康相談ののっていただけます。

是非一度受けたみて下さい。住職も毎月お世話になっております。

ホームページ

宝林寺役員澤田和弥さまのご協力を得て、お寺のホームページを開いております。

下記のQRコードよりお入りください。



2024(令和6)年度後期 宝林寺行事予定

| | | |
|----------|-------------------|-------------------|
| 盆踊り(共催) | 9月7日(土) 19時～21時 | |
| 秋の彼岸法要 | 9月19日(木) 14時～16時 | 法話:野村康治 師(本願寺布教使) |
| お寺旅行(予定) | 9月29日(日) | |
| 報恩講 | 10月18日(金) 14時～16時 | 法話:葛野洋明 師(龍谷大学教授) |
| (音楽法要) | 19日(土) 14時～16時 | 法話:内藤昭文 師(本願寺布司教) |
| 11月常例法座 | 11月19日(火) 14時～16時 | 法話:花岡直樹 師(本願寺布教使) |
| 十二月常例法座 | 12月19日(木) 14時～16時 | 法話:天岸浄園 師(本願寺布教使) |
| 除夜会 | 12月31日(火) 23時 勤行 | 法話:住職 |
| | 23時45分～ | 除夜の鐘 |
| 初会法座 | 1月19日(日) 14時～15時 | 法話:住職 |
| | 15時 | 甘酒接待 |
| | 15時30分～ | 婦人会総会 |
| 二月常例法座 | 2月19日(水) 14時～16時 | 法話:足利孝之 師(本願寺布教使) |

さらには、海外教育事情視察団の一員に抜擢され、欧州の各国から米国まで巡り、幅広く見聞を深め、教員として的人格はさらに高まるばかり。

その間、昭和四十九年、教員として奉職しながら当山宝林寺の住職を継職。さらに、その十年後の昭和五十九年、父・覚雄師が往生の素懐を遂げる。

その後、法師の一念発起のもと、当山・宝林寺本堂の新築計画が進み、平成四年に木造新築本堂の落慶を見る。

加えて、平成二十四年、当山、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を門信徒一同、寺族共々、厳肅に勤め、さらには、住職継職奉告法要を併修し、今日に至る。

誠に、法師の歩んだ道は疾風怒濤の昭和の戦時下から戦後の復興、そして、万人が豊かさを求めた成長の時代。

そこでの法師のご苦勞はいかばかりであったか、全くの敬服のいたりばかり。

しかれども悲しきかな、数年前より法師を襲う病魔は、次第に法師を蝕み、ついに去んぬる七月八日の前年命終、後念即生の教えのままに往生浄土の素懐を遂げて極楽聖衆の数に加わる。

享年は九十三歳なりき。

ここに その懐かしき面影を偲び、惜別の悲哀、いとど深し。

今や 世は混迷を極めて、五濁の教誡いたく身に沁み、聖法の振典、挙げて希求せられる時、願わくは 師、遙かに蓮華蔵世界より照覧して、とこしえに深厚の冥護を垂れ、煩惱の林に影向して化をあまねく四海に布き給わんことを。

伏して請う、三宝、甚深の大悲を以て 哀愍摂受し給え。

合掌

宝林寺の掲示板

報恩講法要のご案内

10月18日（金）14時～16時

おつとめ：正信偈

ご法話：龍谷大学教授 葛野洋明 師

10月19日（土）14時～17時

おつとめ：音楽法要（正信偈）

ご法話：本願寺派司教 内藤昭文 師

報恩講コンサート

10月19日（土）14時半

出演：バイオリンduo

今年も二十代の若手バイオリニストお二人に報恩講へ花を添えていただけます。ご期待ください。

ポッチャ やいませ！

毎月第一水曜日 14時30分～

前回のパラリンピックでかなり認知度が上がったポッチャ。

今回のパラリンピックでも要注意！

百歳体操に引き続き多くの方が参加されて楽しくやっています。

どなたでも参加できますのでお気軽にお越しください。

前住職 往生のご報告

前住職 南部松雄が7月8日お浄土に還らせて頂きました。

ご門徒の皆様には事後報告になりましたことを心よりお詫び申し上げます。

父は92年の生涯に渡り、この安立町の地で沢山の方にお育て頂きました。

小学生時代の集団疎開、大阪大空襲、沢山の悲しい別れ。よく口にした「戦争はしたらあかん」という言葉には多くの思いがあったのでしょうか。

もう一つ、「もったいない」とよく言っておりました。戦後の物の無い時代を潜り抜けたきた父には食品ロスという言葉は耐え難い響きだったと思います。

人生を彩った色んな思いを十数冊の書物としても残してくれました。

92年間、ご門徒の皆様と朋に宝林寺を支えて頂いたことに感謝の思いでいっぱいです。

ありがとうございました。引き継いで頑張ります。

お通夜、お葬式の導師を勤めて頂いた祐貞寺のご住職が当日読まれた表白をご本人からの許可を頂いて前文掲載いたします。

(表白：葬儀の際には個人の遺徳を偲んで読み上げることば)

表白

敬って 西方 極楽世界にまします 大慈大悲の阿弥陀如来に白して申さく、本日ここに 有縁参集の人々と共に 祐貞寺住職釋隆行、恭しく、尊前を荘厳し 懇ろに聖教を讀誦して 当山前住職 蓮與院釋松雄法師の葬儀を勤修し奉る。

つらつらおもんみるに法師は昭和七年八月二日、当地・安立町宝林寺住職覚雄師の長男として生をこの世に受く。

法師は祖父・松長師、並びに父・覚雄師の慈育のもと、幼少の頃より雅楽に親しみ、昭和十五年五月、八歳の時、四天王寺宝塔落慶法要の晴れ舞台で迦陵頻を舞う。

以後、日本のいにしへの文化への造詣は成人してからも深まるばかり。

さらには、太平洋戦争熾烈化のさ中昭和十七年、十歳の夏、本山本願寺に得度受式し、僧籍を得る。

戦禍が広まる昭和十九年九月、法師が通う小学校の児童たちは集団疎開を行い、法師もその一団に加わり、満足な食事も伴わず、苦難の生活を経験する。

その半年後、法師は自坊へ戻るが未曾有の戦禍、大阪大空襲に遭う。

幼き少年時代にあつて、戦争の悲惨、世の無常の極みを身をもって体験する。

然るに、終戦を迎えるや、法師の学業の成果が実り、地域屈指の進学校今宮中学校に入学。

更には、学制改革で府立南高校へ編入、以後、法師の向学心は益々もって高まり、多くの師に恵まれて、自由と開放感の溢れる校風の中、大阪大学文学部に入学し、中国哲学を学ぶ、後に龍谷大学大学院で仏教学を修し、広く仏教の奥義を極める。

その間、万葉集への関心も高く、万葉集の第一人者、犬養孝師の薫陶を受け、晩年まで作り続けた、短歌のわざの礎を築く。

而して 学業を終えるや昭和三十年、大阪府立定時制高校の教職に就く。

その最初は府立北野高校、次に府立大手前高校、以後およそ二十年の年月、幾多の勤労学生たちの教育に携わり、法師を慕う卒業生は数知れず、最近に至るまで同窓会が開かれる。